

# 令和3年度栃木支部 保険者機能強化予算事業（案）

# I 令和3年度 栃木支部保険者機能強化予算の概要

1. 令和3年度支部医療費適正化予算			
予算枠 13,026千円		支部計画 13,014千円	
事業	予 算		
	令和2年度	令和3年度	前年度比
ジェネリック医薬品使用促進のための情報提供	2,615,800円	1,893,540円	△ 722,260円
①医療機関等を通じた、患者へのジェネリック医薬品情報提供 ・患者へのジェネリック医薬品説明媒体の発送 ・医療機関等へのジェネリック医薬品情報提供ツールの発送 等	583,000円	483,340円	△ 99,660円
②15歳未満加入者のジェネリック医薬品使用促進のための情報提供 ・15歳未満世帯への圧着DMの発送 ・0歳児世帯へのお薬手帳カバーの発送 等	2,032,800円	1,410,200円	△ 622,600円
紙媒体による広報 (納入告知書同封チラシ、協会けんぽのしおり発送等)	3,259,000円	3,034,075円	△ 224,925円
事業主に響く媒体でのインセンティブ制度広報 (令和2年度実施アンケートおよび広報実施結果に基づく効果的な広報)	3,869,000円	6,000,000円	2,131,000円
新規適用事業所、新規加入者に対するメルマガ、ジェネリック等の情報提供 (新規適用事業所や新規加入者への事業内容等の説明資料の送付等)	1,936,000円	764,500円	△ 1,171,500円
YouTube広告を活用した協会けんぽの意見発信	1,320,000円	1,320,000円	±0円
合 計	13,000,000円	13,014,000円	14,000円

# I 令和3年度 栃木支部保険者機能強化予算の概要

## (1) ジェネリック医薬品使用促進のための情報提供

目的	①ジェネリック医薬品の説明媒体を病院や保険薬局を通じ、患者の待ち時間等を活用しジェネリック医薬品の情報提供を行うことで、加入者の理解を促進する。 ②若年層の使用割合が低いことから、子がいる家庭へ、医療保険への財政効果や安全性などの情報提供を行うことで、親世代の理解を促進する。また、ウィズコロナを前提とした医療機関へのかかり方等について周知する。
事業概要	①【継続】栃木県内の協力いただける病院及び薬局を通じ、加入者へ情報を提供する。 ＜チラシ内容＞・医療費助成のある15歳未満向け ・慢性疾患新患向け ②【継続】15歳未満者がいる33,000世帯へ財政効果や安全性などの情報を圧着型ダイレクトメールで送付する。また、新生児がいる世帯に対し、#8000のキャラクター付きお薬手帳カバーを送付する。
予算	①483,340円（前年度比△99,660円）②1,410,200円（前年度比△622,600円）
評価方法	ジェネリック医薬品使用割合、効果額、栃木支部年代別使用割合、チラシ配布枚数を検証する。

## (2) 事業主に響く媒体でのインセンティブ制度広報

目的	事業主に有効な媒体を活用したインセンティブ制度・健康経営等の広報を実施する。
事業概要	【継続】令和2年度に調査した、事業主が情報収集のために利用する媒体についてのアンケート結果および令和2年度までのメディア広報の効果を踏まえ、有効な媒体を活用した広報を実施する。
予算	6,000,000円（前年度比+2,131,000円）
評価方法	インセンティブ制度各評価指標の対前年度比、とちぎ健康経営宣言事業所数の対前年度比を検証する。
評議員意見	インセンティブ制度における保険料の影響額等、具体的に見える例を示す広報が必要

# I 令和3年度 栃木支部保険者機能強化予算の概要

2. 令和3年度支部保健事業予算      予算枠 54,273千円      支部計画 54,042千円

(単位：千円)

事業項目	予算		
	令和2年度	令和3年度	前年度比
健診経費	32,957	30,873	△ 2,084
事業者健診H b A 1 c追加検査費	53	53	±0
治療中の者の検査結果情報提供料	0	0	±0
健診予定者名簿送料	0	0	±0
健診実施機関実地指導旅費	34	30	△ 4
事業者健診の結果データの取得 (1)	5,738	8,676	2,938
集団健診	14,001	14,520	519
健診推進経費	6,600	2,750	△ 3,850
健診受診勧奨等経費	6,531	4,844	△ 1,687
保健指導経費	6,987	4,665	△ 2,322
保健指導機関委託費	0	0	±0
中間評価時の血液検査費	990	528	△ 462
医師謝金	39	13	△ 26
保健指導用データ等送料	615	60	△ 555
保健指導用パンフレット作成等経費	160	160	±0
保健指導用事務用品費 (測定用機器類等)	300	400	100
保健指導用図書購入費	100	100	±0
公民館等における特定保健指導	110	120	10
保健師募集広告経費 (支部)	50	50	±0
保健指導推進経費	3,201	2,211	△ 990
保健指導利用勧奨経費	1,422	1,023	△ 399

# I 令和3年度 栃木支部保険者機能強化予算の概要

(単位：千円)

事業項目	予算		
	令和2年度	令和3年度	前年度比
重症化予防事業経費	8,457	8,402	△ 55
未治療者受診勧奨 (3)	7,700	7,975	275
重症化予防対策	757	427	△ 330
コラボヘルス事業経費	4,939	6,010	1,071
コラボヘルス事業 (4) ①	3,905	4,514	609
情報提供ツール (4) ②	1,034	1,496	462
その他の保健事業経費	556	4,092	3,536
その他の保健事業 (2)	556	4,092	3,536
保健事業実地計画アドバイザー経費	0	0	±0
合 計	53,896	54,042	146

# I 令和3年度 栃木支部保険者機能強化予算の概要

## (1) 健診勧奨強化、実施拡大

目的	定期健康診断（事業者健診）の結果データを取得する、または定期健康診断を受診している事業所へ生活習慣病予防健診への切り替えを促すことにより、健診実施率の向上を目指す。
事業概要	【継続】データ提供に同意いただいている事業所の健診機関情報を正確に把握・管理することで、確実にデータ取得を行う。併せて、健診費用の補助があり、定期健康診断の実施に替えられること等の生活習慣病予防健診のメリットを伝えながら切り替えを促していく。 ＜対象事業所＞ 9,500社
予算	8,495,300円（前年度比+2,783,800円）
評価方法	対象事業所の受診者数、受診率を検証する。（令和2年度対令和3年度）

## (2) 特定保健指導の拡大

目的	毎年健診を受診しているものの、健診結果の改善が見られず、生活習慣を変えることにつながっていない方へ、検査値の経年変化と改善対策を示し、行動変容を促す。
事業概要	【新規】メタボリックシンドローム判定に3年連続該当したもの及び、判定が悪化したものに対し、血圧・血糖・糖質の3年分の経年結果を示すとともに、対策を通知することで加入者自身の健康状態の理解の促進及び生活習慣改善に向けた行動変容を促す。 ＜対象者＞ メタボリックシンドローム該当者 8,000人
予算	4,092,000円
評価方法	対象者の健診結果の改善率、特定保健指導実施率を検証する。

# I 令和3年度 栃木支部保険者機能強化予算の概要

## (3) 重症化予防対策の推進

目 的	健診結果で血圧値が「要治療」または「要精密検査」と判定された方に、確実に医療機関を受診していただくことにより、生活習慣病の重症化を防ぎ、QOLの維持を図る。
事業概要	【継続】 文書勧奨後、外部委託を活用した電話勧奨を実施する。原則事業所を介して実施する。 ＜対象者＞ 健診結果で血圧値、血糖値が「要治療」または「要精密検査」と判定され、健診後3か月以内に医療機関の受診が確認できない被保険者3500人とする。
予 算	7,975,000円（前年度比+275,000円）
評価方法	受診勧奨後3か月以内の医療機関受診者数、受診率を検証する。（令和2年度対令和3年度）

## (4) コラボヘルス

目 的	①各事業所が抱える健康課題について、健康宣言内容の実践等に積極的に取り組むための啓発を行う。 ②栃木支部の医療費や健診データから事業所ごとに分析した結果を提供し、活用していただくことで加入者の生活習慣改善における行動変容を促す。
事業概要	①【継続】 健康経営を実践する事業所に訪問し、「メンタルヘルス」「食事」「運動」に関する動画等で事業所が従業員の健康づくりを行う際のツールを提供する。 ＜対象事業所＞ 健康宣言事業所 1,000社 ②【継続】 事業所個別の健診結果等をまとめた健康度情報を提供する。 ＜対象事業所＞ 経年配布事業所 3,000社
予 算	①4,513,300円（前年度比+608,300円） ②1,496,000円（前年度比+462,000円）
評価方法	健康宣言事業所の健診率、保健指導実施率、健康宣言事業所アンケートによる意識調査を検証する。